議題4

団体等の名称	**千葉県立衛生短期大学**
設立目的	一般教養を高め、保健医療に関する知識及び技術を教授研究し、社会の福祉と文化の発展に寄与し得る専門技術者を育成することを目的として設立
構成員	・ 第一看護学科　学生240名　教員17名 ・ 第二看護学科　学生80名　教員12名 ・ 歯科衛生学科　学生100名　教員11名 ・ 栄養学科　学生100名　教員10名
主な活動状況	● 公開講座 平成18年度の公開講座では、「学ぼう・語ろう・考えよう　－健康ちば21－」とメインテーマに、健康増進に役立つ知識を扱いました。 主な演題は、「健康のツボ－こころとからだ、みんな元気に！－」「要介護にならないために－歯科の立場から－」「ずっと元気で暮らすための食生活」「脳を健康に保つ」などです。 ● 大好き！ちばの新鮮やさい　お料理コンテスト 千産千消を推進するために県内産農産物を使った料理コンテスト（主催：キリンビール千葉支社、JA全農ちば、千葉県）に協力しています。予備審査を食育研究会、審査委員長を栄養学科教授渡邊智子が行い、準備等は栄養学科助手などが協力しています。 コンクールの入賞作品をレシピと栄養価を分かりやすくまとめて編集した「大好き！千葉の新鮮野菜　お料理レシピ集」を作成しました。 ● NPO法人　ちば自然学校への食育活動協力 食育研究会では、千産千消を推進し、望ましい食事の理解を助けるための事業に協力しています。子どもを対象に、千葉の食材の知識と食材を生かした料理の指導をしました。分かりやすい食育教材も提供しています。
その他	「介護予防を知ろう！　いきいきすこやかノート」の作成 高齢者がすこやかに元気に暮らすための食事を中心にした生活全体のコツを紹介したパンフレットを作成しました。 好評を得て、現在第2版を印刷中です。

団体等の名称	**社団法人　千葉市医師会**
設立目的	医道の高揚、医学医術の発展普及、公衆衛生の向上及び社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
構成員	会員数　１，０２４名　　（平成１９年１２月１２日）
主な活動状況	①夜間・休日の救急診療 ②予防接種 ③乳幼児健診・学校健診・老人健診、がん検診などの検診事業 ④保育所の嘱託医、小・中・高等学校の学校医 ⑤介護保険の認定審査 ⑥健康教育、健康相談 ⑦訪問看護ステーション、地域産業保健センターの運営
食育に関する主な活動状況	近年、生活習慣病、メタボリック症候群の増加が著しく、来年度からスタートする特定健診の対応も含めてこの予防に医師会をあげて取り組んでいます。 具体的には、各種健診（乳幼児、学校健診も含めて）事業、健康教育や講演会の開催や協力、参加。内科、外科、小児科、眼科など専門科を越えた病院とクリニックの連携、他の団体との連携などを推進しています。
その他ＰＲ	千葉市医師会は会員数１，０００を数える職能団体であり、開業医、大学、病院の医師など多数の人材を有しております。 病気以外の健康全般についても気軽にご相談ください。

団体等の名称	**千葉市保育協議会**
設立目的	・千葉市内公私立保育所（園）職員相互の連携を保ち研修と親睦を図ると共に、保育事業の健全な育成発展に寄与することを目的とする。
構成員	千葉市内公私立保育所（園）職員
主な活動状況	・総会及び役員会 ・全体研修及び各職種ごとの研修 ・職員運動会 ・区会（区ごとの研修）
食育に関する活動状況	・栄養士研修 ・調理員実践研修 ・区会のテーマによって「食育」をとりあげることもある。 ・地域の子育て家庭向けに離乳食や手づくりおやつなどの料理講座を行う（その地区の栄養士２～３人で）

団体等の名称	**社団法人　千葉市歯科医師会**
設立目的	医道の高揚ならびに歯科医学医術の進歩発達と、公衆ならびに学校衛生の普及向上による予防医学の完成に努力し、社会福祉に貢献することを目的としている。
構成員	※人数　　４７８　　人　　（平成１９年１２月）
主な活動状況	＜歯科健診・予防・相談活動＞ 各種歯科相談、事業所健診、市民のための歯科講座、歯みがき＆でんたるカップミニサッカー大会　等 ＜応急・特殊歯科診療活動＞ 休日歯科応急診療、要介護高齢者・心身障害者（児）歯科診療、訪問歯科診療 ＜市からの委託事業＞ 歯周疾患検診（40歳・50歳・60歳・70歳の節目検診）、1歳6ヶ月児・3歳児歯科健診、 成人歯科教育・相談、市立保育所園児・就学児・児童・生徒の歯科健診、学校歯科啓発事業、喫煙防止教室、介護予防事業
食育に関する活動状況	＜市における活動＞ 成人歯科教室、介護予防教室、市民公開講座、ヘルシーカムカム、デンタルカップなどにおける食育、栄養の啓発 ＜県における活動＞ 食育冊子の発刊　、「８０２０ピーちゃん落花生」および「田づくりで健康な歯づくり」の配布事業、８０２０ピーちゃん落花生を使った料理コンテスト、千葉県食育ボランティア登録、保育所保育士への食育研修会、次世代育成計画策定作業部会への参画、食育を支える口腔保健円卓会議の招集開催、幼児の摂食状況調査事業および摂食指導事業、口腔保健大会における食育啓発、生活習慣病から身を守る講演会開催
その他ＰＲ	歯科医師会では、成人歯科相談、教育、介護予防事業、市民公開講座、ヘルシーカムカム、デンタルカップなど、口腔から全身の健康を支え、市民の皆様の明るく楽しい健康長寿の実現を支援する活動を実施しております。　　この機会に是非、私達歯科医師会の活動を皆様に知っていただき、市民の皆様と共に活動する、より身近な歯科医師会でありたいと思っております。

団体等の名称	**千葉市食生活改善協議会**
設立目的	食生活改善組織相互の連絡を緊密にし、食生活改善の促進を図るとともに、食生活を通じて健康づくりに期し、市民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。
構成員	食生活改善推進員（千葉市が主催する栄養教室の修了者） ※人数　　２１５　　人　　（平成１９年１２月）
食育に関する活動状況	食事バランスガイドやエクササイズガイドを用いて、地域住民に健康づくりを推進している。公民館や学校等を活動の場とし、幅広い世代を対象に調理実習を含めた講習会を開催している。定期的に研修会を開催し、新しい知識や技術を習得している。 ・親子料理教室 ・男性料理教室 ・区民まつり ・ヘルスサポーター養成講習会 ・総合学習、わくわくキャンパス　　など

団体等の名称	**千葉市小中学校長学校運営協議会**
設立目的	義務教育の責任を直接担うという使命感のもとに、校長としての職能の向上、学校運営に関する調査研究を行い、各学校運営の充実を図るとともに本市教育の振興と発展に寄与することを目的とする。併せて、人間尊重教育を基調とする千葉市の学校教育を推進する。
構成員	千葉市小・中・特別支援学校長 小学校　１２０人、中学校　５７人、特別支援学校　２人 合計　１７９人（平成１９年４月１日）
主な活動状況	組織活動の充実強化　①専門委員会活動の充実 ②小中学校間及び地域別間の連携 ③大都市小中学校長会との連携 ④関係機関及び諸団体との連携 教育活動の充実　①創意工夫を生かした教育課程の編成･実施 ②新しい教育課題に対応した教育活動の充実 ③生徒指導･進路指導の充実 ④健康･安全指導の充実 教職員研修の充実　①校長の組織的研修の充実 ②校内研修の充実 ③新しい教育の実施に伴う研修の充実 ④初任者研修及び教職経験者研修の充実
食育に関する活動状況	校長会の食に関する活動としては、健康安全委員会に所属している給食部会が主に学校給食を通して『食に関する指導』を推進している。 ①学校給食上の諸問題について・・・給食指導主任会や学校栄養士会と情報交換及び協議し、その結果を各学校に知らせる。 ②学校給食研究協議会を開催し、学校や栄養士会・給食主任会の事例研究の発表を基に協議したり、講演を実施して研修を深めている。 また、各学校では、「食と体」、「食材と栄養」、「給食とマナー」、「保護者による給食試食会」、「家庭科等の教科による指導」等により、『食に関する指導』を行っている。 また、行政の取り組みとして、学校給食センターの栄養士や調理員等による巡回指導を実施している。

団体等の名称	**社団法人 千葉市幼稚園協会**（神栄学園あやめ台幼稚園）
設立目的	学校教育法、その他関係法令に則り 幼稚園教育を行うことを目的としている。
構成員	（あやめ台幼稚園） 満3歳児　11名(1クラス)　学級担任　13名 年少組園児　89名(4クラス)　補助教諭　5名 年中組園児　98名(4クラス)　事務職員　3名 年長組園児　110名(4クラス)　その他職員　8名 ※園児数　308名（平成19年12月）　教職員数　計29名
主な活動状況	文部科学省の幼稚園教育要領を基準としているが、私学として 特色のある保育を行っている。それらの特色として生活体験、 自然体験を重視している。最近はこれらの体験から食育へ 発展させるための保育方法を考えている。
食育に関する活動状況	4月　年長組よもぎだんご作り 〃　全学年竹の子収穫 5月　年少組イチゴジャム作り 〃　年長組陶芸皿作り 〃　年長組野菜苗植え 〃　年長組田植え 〃　年中長組サツマイモ苗植え 6月　年中組エプロン染め布 〃　全学年ジャガイモ収穫 〃　全学年梅ジュース作り 7月　〃　カレー作り 10月　年長組米収穫 〃　全学年栗拾い 〃　年中長組サツマイモ収穫 〃　全学年収穫まつり・調理（栗おこわ、ふかし芋、豚汁） 11月　年中組みそ作り 〃　カリンシロップ作り 12月　全学年もちつき 1月　年長組うどん作り ※その他畑の収穫物をそのつど昼食時に職員が調理したものを食べている
その他ＰＲ	最近は保護者たちも園で食育に関する体験をする場を設けて ともに育ちあうことを考えている。 12月　保護者・園内の竹を使った箸作り 1月　〃　手作りコンニャク教室 2月　〃　陶芸食器作り教室(予定)

団体等の名称	**社団法人　千葉県栄養士会千葉支部**
設立目的	・千葉県栄養士会内部組織として政令都市千葉市当局および関係団体等に対応する。千葉県栄養士会に準拠する事業の執行を目的
構成員	千葉市内に在住、在勤の管理栄養士・栄養士 ※人数　約　５５０　人
主な活動状況	・千葉市民に対する栄養食生活（食育）改善事業 ・千葉支部会員に対する資質向上、情報交換
食育に関する活動状況	・食育に関する情報提供 （新聞、ラジオ、雑誌、冊子など） ・食育に関する講師派遣・テレホン栄養相談・ホームページ ・食育健康（親子）料理教室 ・千葉市関係部局及び関係団体のイベントなどへ参加し、食育教育に関与
その他ＰＲ	・各協議会（行政・学校・福祉・病院・集健・研究・教育・地域活動）会員が、それぞれの職域分野で食育に関する指導活動を 行っている。

団体等の名称	**千葉市畜産協会**
設立目的	会員相互の連絡協調と畜産経営の合理化を促進し、もって本市の畜産の発展を図ることを目的とする。
構成員	酪　農　　４８　人　　肉用牛　　６　人 養　豚　　７　人　　養　鶏　　８　人 特別会員　　１　人 ※人数　　７０　人　　（平成１９年１２月）
主な活動状況	家畜の防疫対策事業 環境衛生対策事業 酪農指導事業 養豚指導事業 養鶏指導事業
食育に関する活動状況	千葉市地産地消推進連絡会議のメンバーとして参加し、新鮮で安心安全な農産物の安定的な供給と健全な食生活実現のため、本協会の活動内容を反映している。

団体等の名称	**千葉みらい農業協同組合**
設立目的	地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地位の向上を図る事を目的とする。
構成員	組合員　8,636人　　役員数　26人 職員数　213人　　（平成18年12月）
主な活動状況	信用事業　貯金残高　1,002億円 　　貸出金残高　504億円 共済事業　長期共済契約保有高　　4,279億円 経済事業　販売品販売高　18億円　　直売所販売高　7億円 　　購買品供給高　15億円　　（平成18年12月）
食育に関する活動状況	①学校給食への食材 　環境保全型農業に取組みながら、人参、大根、小松菜、バレイショ、早生里芋、米、スイカ葉付大根などを供給 ②地産地消 　農産物直売所「しょいか～ご」・土気「旬菜」での消費者と生産者の交流 ③体験収穫 　青年部、生産組織、行政との連携によるサツマイモ収穫などの取組み ④太巻き寿司教室 　女性部を中心として小学校への太巻き寿司教室の取組み ⑤ふるさと農園 　千葉市からの受託管理事業として取組み「農業にふれる」をテーマに農業体験教室等を100回開催（平成18年度　8万人来園）

団体等の名称	**株式会社マルエツ** **食育担当部署:営業開発本部　営業計画部　食育推進**
会社概要	創業：1945年（昭和20年）10月 設立：1952年（昭和27年）6月16日 資本金：37,549,514,941円 上場証券取引所：東京証券取引所 店舗数：239店舗（2007年12月現在） 従業員数：12,001名　パートタイマー8,725名含む(2007年2月末現在) （1日8時間換算による期中平均人員） 主な事業内容：首都圏に展開する食品スーパーマーケットチェーン
食育に関する主な活動状況	・店内での「食事バランスガイド」普及活動 ・キッチンいーとぴあコーナー（17店舗）での料理提案 ・いーとぴあ（料理教室：南浦和）での子供料理講座の運営 ・親子農業収穫体験ツアー・酪農体験ツアー等の開催 ・店内での食育イベントの実施 ・ホームページでの食育活動（料理の基礎知識、バランスガイド等）
その他ＰＲ	マルエツは、安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します。

団体等の名称	**千葉市食品衛生協会**
設立目的	飲食に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止し、食品の質の向上を図り、食品営業関係者及び消費者に対し、食品衛生思想の普及啓発を行い、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与する。
構成員	※人数　約３，０００人　　（平成１９年１２月）
主な活動状況	・食中毒予防キャンペーン（食中毒予防パレード等） ・食品衛生指導員及び食品衛生推進員による巡回指導 ・千葉市食品衛生大会の開催 ・各種研修会・講習会の開催 ・各種大会（健康づくりフェア等）への参加など
食育に関する活動状況	近年の食品製造技術の高度化、輸入食品の増加等により、食生活を取り巻く環境が著しく変化するとともに、BSEの発生、残留農薬問題、 食品の偽装表示等食品に関する様々な問題が生じており、健康に対する関心とあいまって、消費者の食品の安全性に対する関心が非常に高まっております。 私ども千葉市食品衛生協会では、食中毒の予防や営業施設の改善など自主的な管理に努め、食品衛生の向上に上記活動状況を通し、食育基本法の基本理念の「食品の安全性の確保などにおける役割」に、千葉市と一体となって取り組んでいる。

団体等の名称	生活協同組合　ちばコープ
設立目的	・消費生活協同組合法に基づいて協同し、よりよいくらしを求める人たちによって作られた組織。 ・「ともにはぐくむ　くらしと未来」という理念をかかげ、千葉県のくらしのネットワークをつくっている。
構成員	※人数　５４万世帯　　（平成１９年１１月）
主な活動状況	①店舗、宅配による商品供給 ②共済、葬祭、福祉関係などのくらしに関わる事業 ③次世代支援、環境、地域の安心、食育など社会的課題のとりくみ
食育に関する活動状況	①食に関する学習会の開催 ②食事バランスガイドの普及 ③行政、他団体、生産者、メーカーと一緒に関するプログラムを展開 ④組合員の自主的な食のとりくみの応援

団体等の名称	千葉市PTA連絡協議会
設立目的	父母と教師が協力して家庭と学校と社会における児童・生徒の幸福な成長を図ることを目的として設立した。
構成員	（１９年度） 小学校　75校　31,335名　中学校　37校　14,252名 特別支援学校　2校　109名 合計　114校　45,696名
主な活動状況	・広報活動　市Ｐ連ちばの発行 ・教育問題に関する調査の実施 ・研修活動 ・スポーツ大会の企画・運営　等
食育に関する活動状況	・子どもの基本的生活習慣の乱れが指摘され、千葉市でも例外ではなく、学習や生活に充実感をもてるように、朝食をきちんと食べるようにしようとした。すべての子どもがきちんと朝ごはんを食べて登校すれば、学業、成績、子どもの人間関係がよくなることに期待できる。 ・各学校で、検討し全員が朝食をとって登校するようにする。このことが重要なＰＴＡ活動であると位置づけた。各区単位で検討し、その学校にあったやり方で活動している。 ・活動の様子を「市Ｐ連ちば」という広報紙で全家庭に知らせる。 ・各学校で、学校と協力して取り組みが始まっている。 ・区によってはばらつきがみられるが、単年度で終わらせないで、数年かけて活動していく。 ・活動を定着させたら、未加入校にも働きかけ全市的に取り組む。 ・親が朝食を用意するのがめんどうなので、いっさい食べさせない家庭が増加していきている現状をどのように改善していくか。